



「思いを伝える、想いが伝わる」労組役員になろう! -労働運動の意義・必要性を「2024労組リーダーセミナー」で再確認-



連合鳥取は、8月24日(土)、「2024労組リーダーセミナー」をエースバック未来中心(倉吉市)で開催しました。各産別より若手中堅役員48人と、連合鳥取広報・教育局役職員11人の合計59人(うち女性13人・女性参画率22.0%)が参加し、「思いを伝える、想いが伝わる」と題した講演とグループワークを行いました。

■主催者あいさつ(抜粋)

連合鳥取 山口一樹会長

労働組合・労働運動に対する意識の希薄化が懸念され、意義・必要性を若年層にいかに関承していくかが重要になっている。今日の講演とグループワークで得たものをそれぞれの組織に持ち帰り、是非活用をしていただきたい。

■講演

「思いを伝える、想いが伝わる」

講師

(株)ソラレ

代表 東浩司さん

冒頭に「笑顔になること」でプラス思考になり、自分らしくいきいきと働けるようになるので、「いい組合員ではなく、笑っている組合員になろう」と呼びかけられました。

続いて「思いを伝える・伝達力」について解説され、①事実と私見を分けて話す、②大きい情報から小さい情報へ、③PREP法(結論↓理由・根拠↓具体例↓まとめ)で話すという良さを、グループワークで実践を交えながら楽しく学びました。

さらに「想いが伝わる」では、①人は見た目と話し方で9割の印象が決まる、②相手の気持ち

に寄り添う「共感力」で伝える、③「議論」と「対話」は別もの、合意形成をはかる際には「納得解」をめざすことと、ポイントを解説されました。

後半には、「心理的安全性(誰もが気兼ねなく話ができる事が保障されている場)」が不可欠。なぜなら①安心して話せ・働ける↓離職防止、②自由にアイデアが出せ実行できる↓主体性が発揮、③批判を恐れず意見を述べられる↓リスクマネジメント、不正防止と多くのプラス効果が得られるので、意識して「聴く」ことが肝心だと解説されました。ただ、一朝一夕にはできないので、①気づいたら、やってみて、やり続ける、②場数をこなす、③褒め合う習慣をつくることでできてくると解説され、最後に「『ありがとう』を出し惜しみしないで」と結ばれました。

■まとめ(抜粋)

広報・教育局 谷本寛局長

現在の労働条件はこれまで諸先輩が築いてこられた結果なので大切にしたい。グループワークでは大変な盛り上がりも見られ、有意義な学びになったのでは。みなさんは労組のリーダーであり職場のリーダーでもあるので、今日の内容を活かし活躍してほしい。

参加者アンケートより

- ・円滑なコミュニケーションのやり方を深掘りできてよかった。
- ・心理的安全性がいかに大切なものであるのかよくわかった。私から声かけて職場の雰囲気を変えていきたい。
- ・自身が今一番学びたいテーマだったのでとてもよかった。特にリフレーミングの考え方、練習方法が学べてよかった。

- ・自分の課題が見つかった。今後の立ち居振る舞いに活かしていきたい。
- ・グループワークが多く、出席者と話す機会が多くよかった。雑談を通して気軽に話せることが円滑な仕事を進めるうえで大切だと感じた。
- ・普段話すことのない業種・職業の方と話せて大変刺激になった。

別紙「連合鳥取2025年度政策・制度要求」(7/30鳥取県へ提出)もご参照ください

鳥取県最低賃金 **時給 957円** [57円引き上げ] に! (10/5発効予定)

2024年度の地域別最低賃金

単位は円。各地の答申に基づく

引き上げ額	都道府県(ランク)
59円	愛媛(B)
58円	島根(B)
57円	鳥取(C)
56円	佐賀(C) 鹿児島(C) 沖縄(C)
55円	福島(B) 山形(C) 大分(C) 青森(C) 長崎(C) 高知(C) 宮崎(C)
54円	新潟(B) 熊本(C) 秋田(C)
53円	福井(B)
52円	茨城(B) 香川(B)
51円	兵庫(B) 岐阜(B) 福岡(B) 石川(B) 和歌山(B) 山口(B)
50円	東京(A) 神奈川(A) 大阪(A) 埼玉(A) 愛知(A) 千葉(A) 京都(B) 静岡(B) 三重(B) 広島(B) 滋賀(B) 北海道(B) 栃木(B) 富山(B) 長野(B) 山梨(B) 群馬(B) 岡山(B) 宮城(B)

※2024年10月1日から10月初旬まで
に順次発効となります。
発効日は都道府県によって異なります。

佐賀 956		福岡 992		山形 979		島根 962		鳥取 957		石川 984		富山 998		新潟 985		福井 984		岐阜 1,001		長野 998		山梨 988		群馬 985		栃木 1,004		茨城 1,005		福島 955	
長崎 953		熊本 952		大分 954		宮崎 952		鹿儿島 953		山口 979		広島 1,020		岡山 982		兵庫 1,052		京都 1,058		福井 984		滋賀 1,017		三重 1,023		愛知 1,077		静岡 1,034		神奈川 1,162	
沖縄 952		佐賀 956		香川 970		徳島 952		高知 952		和歌山 980		大阪 1,114		奈良 986		三重 1,023		愛知 1,077		静岡 1,034		神奈川 1,162		東京 1,163		千葉 1,076		岩手 951		宮城 973	



8月9日(金)、第546回鳥取県最低賃金審議会が開かれ、現行の900円から57円引き上げ、957円とすることで結審しました。

労働者側は7回にわたる専門部会の中で、①中央最低賃金審議会は「あるべき水準」についての議論がされておらず本質が欠けていること、②鳥取市の実質年間消費者物価指数の上昇率が3.09%に達し、現在の最低賃金の水準は生活保護の水準に近い状況であることなどを主張した上で、2024春闘結果(4.66%引き上げ)も引用しながら大幅な引き上げが必要と、現行の900円から150円引き上げ、1,050円とすることを求めてきました。

それに対し使用者側は、最低賃金法的主旨・目的を十分

考慮することに異論はないが、現実問題として生産性を超えた改定は持続的な経済発展を阻むものになり、大幅な引き上げは容認できないとの考えを表明しました。

慎重な審議を重ねてきましたが、労使双方の主張に隔たりがあることから、第7回専門部会(8/9)において公益委員見解として「57円引き上げ、957円」とすることが提示され、公益・労働者側賛成、使用者側反対で結審しました。

全国的な比較では高い引き上げ額になったことは評価できる一方、水準の低さや近隣県との額差においては課題を残す結果となりました。また、今後も最低賃金の引き上げを継続的に行うためには、中小・小規模事業者が賃上げできる環境を整備することが重要であり、さらなる生産性向上に向け政府をはじめ各行政機関による実効性のある支援が必要不可欠です。新改定額は、8月27日(火)の異議申立審議を経て、10月5日(土)発効予定です。

(8月28日時点で岩手県と徳島県は未決審です。)

2024春季生活闘争【最終集計】発表

2024春季生活闘争は、物価上昇による家計のひっ迫や人手不足による現場の負担増など大変厳しい環境下での闘争となりましたが、物価上昇分に見合った賃金の引き上げにとどまることなく、デフレマインドを払拭し、継続的な「人への投資」により、GDP・賃金・物価が安定的に上昇する経済へとステージを転換させる大変重要な闘争と位置づけ、粘り強い交渉を進めてきました。

7月末の最終取りまとめでは、平均賃上方式加重平均で11,850円の賃上げ(昨年比4,047円増)と、連合鳥取結成

連合鳥取2024春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 [2024.7.31現在集計]

※昨年同時期(2023.7.31)と比較

1. 賃金要求提出状況

登録組合数			2024春闘：106組合			2023春闘：106組合			◆提出せず			2024春闘			2023春闘			◆人動準拠			2024春闘			2023春闘			◆組合員の賃金実態把握																	
2024春闘（2024.7.31）									2023春闘（2023.7.31）									体系維持分を確定			組合数			2			4			組合数			4			3			把握している			77		
																		組合員			29			376			組合員			188			119			把握していない			11					
◆提出した			平均方式			個別方式			合 計			平均方式			個別方式			合 計			◆未提出			2024春闘			2023春闘			◆回答・妥結			2024春闘			2023春闘			◆ストライキ権					
組合数			80			11			91			62			10			72			組合数			1			2			組合数			91			71			確立している			35		
組合員			11,155			1,945			13,100			9,797			1,941			11,738			組合員			20			63			組合員			13,100			11,690			確立していない			50		

2. 要求状況 ※平均賃上方式(体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上け方式		2024春闘 (2024.7.31)						2023春闘 (2023.7.31)						昨年対比		
		組合数	組合員数	合計				組合数	組合員数	合計						
				体系維持分額	賃金改善分額	額	率			体系維持分額	賃金改善分額	額	率			
加重平均	従業員	計	67	9,222	4,159	10,838	14,588	5.91	51	7,145	3,553	7,148	10,485	4.24	4.103	1.67
	300人以上		17	5,737	4,351	11,374	14,996	5.93	16	4,548	3,522	7,904	11,263	4.51	3.733	1.42
	299～100人		22	2,694	3,882	10,079	14,215	6.09	15	1,771	3,267	6,003	8,683	3.48	5.532	2.61
	99人以下		28	791	3,588	9,154	12,519	5.08	20	826	4,493	4,895	9,970	3.97	2.549	1.11

3. 回答・妥結状況 ※平均賃上方式(体系維持相当+賃金改善) ※加重平均

平均賃上方式		2024春闘(2024.7.31)				2023春闘(2023.7.31)				昨対比	
加重平均	計	組合数	組合員数	合計	率	組合数	組合員数	合計	率	額	率
		組合数	組合員数	額	率	組合数	組合員数	額	率	額	率
加重平均	従業員	67	9,222	11,850	4.66	50	7,097	7,803	3.21	4,047	1.45
	300人以上	17	5,737	13,230	5.06	16	4,548	8,678	3.44	4,552	1.62
	299~100人	22	2,694	9,933	3.95	15	1,771	6,371	2.67	3,562	1.28
	99人以下	28	791	7,742	3.53	19	778	5,947	2.65	1,795	0.88

以来最高の水準となりました。賃上げの背景には、物価上昇のみならず、人手不足を背景とする初任給・若年層の賃金引き上げなども影響したと思われることから、今後、中高年層を含む全体の賃金カーブの点検や、さらに深刻化する労働力人口の減少への対応、人材確保、価格転嫁、労務費上昇分をカバーする生産性向上など、中長期的な視点での取り組みが重要になります。

■ 平和特集 (フォトニュース) 〰

連合鳥取ピースウォーク

東部地域【8/3県民ふれあい会館】



参加者全員で黙祷

講演「昭和の戦争と鳥取」
講師 鳥取市歴史博物館
横山展宏学芸員

中部地域【7/30倉吉体育文化会館】

講演「今すぐ戦争をやめなさい」
講師 鳥取地球人クラブ 中尾和則代表

JR倉吉駅前までのデモ行進でアピール

中央(西部)【8/4米子市文化ホール】



だんだん広場から会場までデモ行進



米子市文化ホールにて

連合平和行動に参加

平和行動in沖縄【6/23-24】

連合平和
オキナワ集会
会場にてピースフィールド
ワークに参加

平和行動in広島【8/5-6】

連合平和ヒロシマ
集会に参加原爆犠牲国民学校教師と
子どもの碑にて折り鶴を
献納

平和行動in長崎【8/8-9】

連合平和ナガサキ
集会会場にて

連合平和ナガサキ集会にて 連合長崎会長あいさつ

東部地協発「2024自然環境保全活動」(鳥取砂丘ボランティア除草)に早朝から84人参加



8月25日(日)、東部地域協議会は「2024自然環境保全活動」として、鳥取砂丘除草作業を行いました。

初めに土師佑太議長から「毎年行っている砂丘除草に今回もたくさん集まっていたいただきありがとうございます。体調には十分気をつけて作業をお願いします」とあいさつがありました。その後、鳥取砂丘事務局の方の案内で作業場所へ移動し、作業説明をしていただきました。

除草作業では、みなさんが集中して作業していましたが、雷が鳴りはじめたため、少し早目に終了しました。

最後に、鳥取砂丘事務局の方から「多くの草を取ってくださり大変きれいにになりました。ありがとうございます」と感謝の言葉をいただきました。

ご参加いただいたみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

こんなにたくさんの草をとったよ!!



金属部門連絡会「親子ものづくり教室」に19組の親子(44人)参加

連合鳥取金属部門連絡会は、8月18日(日)、鳥取県職業訓練センター(ポリテクセンター鳥取)にスタッフを含め総勢55人が集まり「親子ものづくり教室」を開催し、「ペットボトルソーラーカー」づくりを行いました。

親子で目を輝かせながら、歯車と車輪の組み立てやソーラーパネルとモーターの配線を行うなど、楽しそうに製作している姿がとても印象的でした。また、各々が装飾を施してオリジナルのソーラーカーを完成させました。

その後、完成したペットボトルソーラーカーを外で走らせ、競争して遊びました。蛇行しながら前に進むソーラーカーを応援するギャラリーや、まっすぐ進まず半笑いになる親子など微笑ましい場面となりました。

(寄稿 連合鳥取金属部門連絡会 事務局長 内藤陽介さん)





湯原 俊二 — りょくひ 緑肥の想い —

自民党の中の表紙替えでは、政治は変わらない

岸田総理が自民党総裁選挙に出ないと表明し、自民党は総裁選挙を盛り上げ、低下した自民党のイメージを上げるために躍起になっています。

しかし、表紙を替えるだけで自民党の体質は変わるのでしょうか。3年前、支持率が低下した菅政権に代わって岸田政権ができました。当初、岸田総理は「聞く力」と言い、アベノミクス・新自由主義からの脱却を意味する「新しい資本主義」と言っていました。実際はどうだったのでしょうか。アベノミクス・新自由主義を踏襲し格差は拡大し、物価高で国民の暮らしは一層深刻になっています。安倍派に端を発した「政治とお金」の問題も、国民の思いからかけ離れた対応でした。同様に岸田政権から自民党の他の政権に代わっても期待はできません。

今、必要なのは、自民党から野党への政権交代です。私たちは「政治とお金」の問題では、企業団体献金、政治資金パーティーを禁止します。新自由主義から脱却し、国民の暮らしを守る子育て・教育、雇用、年金医療介護を充実します。地方に権限と財源を移譲し、東京一極集中を改善します。

自民党総裁選挙と立憲民主党代表選挙に注視してください。

※インターネットで **衆議院TV** → **湯原俊二** を検索ください。
過去の発言風景がご覧になれます。

湯原さんのホームページもご覧ください **湯原俊二** **検索**

二次元コードからもつながります▶



湯原俊二衆議院議員
公式YouTubeチャンネル→
公式YouTubeチャンネルを開設
"チャンネル登録"をお願いします!



野田佳彦衆議院議員 基調講演会
(2024.7.15)



連合鳥取ピースウォーク
(2024.8.4)

“ザ・議員”

あだち たかし 足立 考史

鳥取市議会議員

本年5月に、所属しています「建設水道委員会」で東京都下水道施設を視察しました。

未利用エネルギー（処理水や焼却炉の排熱、排ガスを洗浄した温水）を給湯や冷暖房の熱源として近隣医療センターへ供給することによって、化石燃料由来の電気・ガス使用から排出されるCO2排出量が抑えられ、地球温暖化の取り組みの一つとされています。

また、国土交通省の「下水道革新的技術事業」において、下水汚泥資源を利用拡大し、安定的なリン資源を生み出し、肥料国産化・安定供給に寄与する「新たなリン回収システムによる下水道の資源化に関する実証事業」を民間企業と共同研究され、令和5年度から稼働していました。



東京都下水道施設を視察／手前右端が足立議員

いとう ひろえ 伊藤 ひろえ

米子市議会議員

7月8日（月）、福岡県久留米市へ出向き、会派「信風」の行政視察を行いました。

視察項目は「ひとり親家庭向け相談会について」です。家事、育児、仕事をひとりで抱え込むなか、相談に繋げることが重要です。それらを参考に、フードバンク、こども食堂と連携して、児童扶養手当現況届の際に食支援や相談会を開催することができました。ひとり親家庭のみなさんから「こども食堂は聞いたことはあるが米子にあると知らなかった」との声を多く聞きましたし、養育費の悩みを相談につなげることができました。

身近にお困りの方がおられましたら、相談に繋げていきたいと思っておりますのでご連絡ください。

伊藤ひろえ
(電話)090-1189-1369



相談支援の様子

人にはそれぞれの価値観があって、楽しいことや美味いと思うものもみんな違う。自分の良かれが、必ずしも他人に通用するものでもない。むしろそれが迷惑行為だったりもする。時に優しさすら相手を傷つけるのだから、なんて人間関係って難しいのだろうとつくづく思う▼当たり前の常識なんてマジョリティの産物であって、多様性を認め合うようになった今、相手を理解しようという行為こそが現代の常識になってきていると思う▼人から悩みを相談されたり、頼りにされたりするのも案外嬉しいものだ。辛い思いや苦しんでいる人が笑顔になれば、こちらまで救われた気持ちにすらなる。好きな人、仲間、大切にしたいと思える人が喜んでくれることに幸せを感じたりもする▼労働運動はそれができる。無理してプラスを与えようとすることはなく、寄り添ってマイナスをゼロにするだけでいい。誰ひとり取り残されることのない幸せな社会のために。



てんてんてんてん



再生紙を使用しています